

みせ と く お店で取り組む きほんの「き」

イオンのお店は、毎日のお買物を楽しんでいただだけ
ではありません。お客さまにご参加・ご協力いただき
ながら、お買物を通じて環境保全と社会貢献ができる
よう、お店全体で取り組んでいます。

きほん
1

CO₂を減らす

エネルギーの使用やCO₂の排出を減らす
工夫をしているお店づくりを進めています。

きほん
2

自然の恵みを守る

限りある自然の資源を守ることを考えた
商品を開発・販売しています。

きほん
3

資源をたいせつに使う

お店での資源回収や買物袋持参運動を
お客さまとともに進めています。

きほん
4

よりよい社会をつくる

ふだんのお買物が環境保全・社会貢献に
つながる取り組みを行っています。



木を植えています
私たちはイオンです

かん きょう しや かい と く
イオンの環境・社会への取り組み

きほんの「き」

2015



みな こそ
皆さまの声

かつ どう ひつ よう ぶつ びん
活動に必要な物品を
寄付いただいたことで
活動の幅が広がっています。

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」
贈呈先のボランティア団体さまより

お店に来るたびに、
子どもの成長とともに木が育っていくさまを
見ることを楽しみにしています。

「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭に
ご参加いただいたお客さまより

エコについて学ぶことは、
将来、私たちが大人になったときに
役立つと信じています。

「イオン チアーズクラブ」のメンバーより

かん きょう しや かい と く
イオンの環境・社会への取り組みは、
webサイトでくわしくご紹介しています。
<https://www.aeon.info/environment/>

イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部
〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
Tel:043-212-6037 Fax:043-212-6790
2015年6月発行

ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C014687

き う 木を植える きほんの「き」

地域のお客さまとともに、新しいお店の敷地内に植樹
を行ってきました。1991年から始めたこの活動が、
「イオン ふるさとの森づくり」です。木とともにお店が
地域に根ざすことを願っています。

「イオン ふるさとの森づくり」のこだわり

鳥がさえずり、樹木が香る。緑がいっぱいのお店に
するために、こだわっていること。

きほん
1

その土地の自然環境に
いちばん適している木を
植えます。

きほん
2

何種類もいっしょに
植えることで木を競争させて、
丈夫な木に育てます。

きほん
3

それぞれの地域のお客さまが
主役となって
ちいさな苗木を1本1本
植えていただきます。

くわしい情報はとなりのページをめくってみてね!



お店では何をしているの？



いっしょに「イオン チアーズクラブ」で！

全国約430クラブ、約7,600人の小中学生が参加している「イオン チアーズクラブ」。さまざまな活動を通じて環境への興味と考える力を育てていきます。2015年度は「植物」をテーマに活動します。



マイバッグ

お買物にはマイバスケット、それともマイバッグ？

限りある資源を節約するために、お客さまとともにレジ袋を減らしています。2014年度のレジ袋辞退率は67.5%、レジ袋の削減枚数は、24億825万枚でした。



マイバスケット



イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日の「イオン・デー」に実施。黄色いレシートを通じて、お客さまとともに地域のボランティア団体を応援しています。2014年度はのべ約23,600団体に投函レシート合計金額の1%にあたる総額2億7,790万円相当の品物を寄贈しました。

これまでも、これからも、お客さまとともに。

お買物を通じて環境保全・社会貢献活動に参加

「トップバリュ」は、お客さまの声にお応えし、環境や社会に配慮した商品を提供しています。



フェアトレード商品 MSC認証商品 ASC認証商品 FSC®認証商品



グリーンアイ オーガニックシリーズ



森の循環

森の循環って何？



植える

地域のため、未来のために、次の1,000万本に向けて木を植え続けていきます。

日本でも！



1992年 国内初の「イオン ふるさとの森づくり」イオン久居店（旧ジャスコ新久居店）

1,000万本！

植樹1,000万本記念碑除幕式（イオンモール幕張新都心）

アジアでも！



（公財）イオン環境財団によるインドネシアでの植樹

木を植えた本数

10,867,710本

（2015年2月末現在）

活かす



国産FSC®認証木材を使用した店舗の拡大

適切に管理された森から生産された木材を、商品原料や店舗の資材に活用していきます。

育てる



林業の後継者を育成する「森つなぎプロジェクト」を2014年から開始

森を育て、森の循環がもたらす恵みによって、人々のくらしを豊かにすることを目指します。